

「Ⅱ 基本的な考え方」及び「Ⅲ 第1期基本計画で取り組むべき重点課題」対照表

第9回	第8回	備考欄
<p>○地域における連携の推進に資するため、先進的な取り組み事例を収集し、周知する。</p> <p>(3) アルコール依存症の治療等の拠点となる専門医療機関の整備</p> <p>○アルコール依存症の診療が可能な医療機関としては、一部、専門医療機関は整備されているものの、全国的に見れば不足している状況である。</p> <p>○アルコール依存症の診療が可能な専門医療機関が少ないという状況の一因として、依存症に対する医療関係者の理解が十分ではないということが考えられる。</p> <p>(取り組むべき施策)</p> <p>○依存症の早期発見・早期治療のため、医療関係者の質の向上に取り組む。</p> <p>○アルコール依存症に適切に対応する医療体制を充実させ、地域における専門医療機関を整備するための実態把握及び求められる機能について検討を行い、集積した知見を基に、地域全体の依存症に対する診療機能を向上させる必要がある。</p>	<p>(3) アルコール依存症の治療等の拠点となる専門医療機関の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症を受け入れる専門医療機関や、アルコール依存症に関する専門的知見を有する医師が不足している。 ・依存症の専門医療機関の実態把握及び求められる機能についての調査研究を行い、集積した知見を基に、専門医療機関の充実を図る必要がある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○重点課題の2の(3)で、依存症の回復のための自助グループの強化ということを入れる。(大槻委員)</p> <p>○第1期に、研究のナショナルセンターを重点に入れるべき。(猪野)</p> <p>○研究をまず重点課題で上げなくてはならない。(松下)</p> </div>	
<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>※ 早期介入については、資料 1-1「アルコール健康障害予防のための早期介入の取組等に関する意見」を踏まえたうえで、更なる議論が必要(資料 1-2 参照)</p> </div>		